

# 令和6年度における鳥獣害対策強化

## 1. 予算関係

### 令和5年度予算額

・有害鳥獣駆除委託料 (うちシカ・イノシシ駆除頭数=2,000頭)	27,000千円
・小諸・佐久・立科鳥獣被害防止総合対策協議会負担金 (くくり罠455基)	3,650千円

・有害鳥獣処理委託料	4,000千円
・デジタル無線機電波利用料	48千円
・新規狩猟免許取得者等補助金	300千円

### 令和6年度予算額

・有害鳥獣駆除委託料 (うちシカ・イノシシ駆除頭数前年比 : +600頭×13,000円=7,800千円)	35,250千円 (内示) (+8,250千円)
・小諸・佐久・立科鳥獣被害対策協議会負担金 (くくり罠308基 (△147基) ・ペアウォーク新規147基)	3,768千円 (内示) (+118千円)

・有害鳥獣処理委託料	4,000千円 (内示) (±0千円)
・デジタル無線機電波利用料	48千円 (内示) (±0千円)
・新規狩猟免許取得者等補助金	300千円 (内示) (±0千円)

### ★シカ捕獲檻導入 3,345千円

**【概要】**  
・遠隔監視、遠隔操作等のICT技術を用いることにより、巡視などの労力を軽減することが可能となる。  
**【手順】**  
①獣が檻に侵入すると檻周辺・檻内センサーが反応し、スマート・パソコン等の通信機器へ通知が届く。  
②リンクをクリックすることで檻のライブ映像が表示され、捕獲状況等を遠方で確認することができる。  
③ライブ映像を見ながら「捕獲」ボタンを押して遠隔捕獲完了。チャットにより止め刺しの日程調整が可能。  
④捕獲操作及び止め刺しは獣友会に委託。

### ★サル生息状況調査 4,818千円

**【概要】**  
サルの目撃情報が増えている望月地域において、(株)環境アセスメントセンターと業務委託契約を結び、サルの群れの数や行動範囲を調査する。  
**【手順】**  
①佐久市でサルを捕獲。  
②捕獲されたメスサルにGPSを装着して放獣し、群れに戻ったことを確認する。  
③群れの個体数や行動範囲を把握することで、誘引物の特定や効果的な追払いが可能となる。

## 2. 獣友会等との連携

### 令和5年度

- (1) ニホンジカ捕獲駆除委託業務 (南北八ヶ岳保護管理協議会)  
一斉駆除地=臼田パラボラ～美笛パラボラ (60～80名参加)
- (2) 立科町獣友会との合同駆除 (例年 2月～3月の土・日曜)
- (3) わな獣講習会 (年に1回実施 (内山))
- (4) 獣友会駆除委託件数: 2,000頭  
(11支部で各会員数に応じた頭数配分)

### 令和6年度

開催地の変更	(1) 望月地区に場所を変更して実施 課題①: 望月の牧場やゴルフ場とする場合の地権者の理解⇒財産区、ゴルフ場共に協議可。 課題②: 狩猟方法 (地理等の把握) ⇒早い段階から獣友会員で情報共有・シミュレーションの実施等。
開催数・人員の増	(2) 合同駆除回数や人員の増 令和6年度早々に立科町及び立科町獣友会と協議を開始。
新規講習会の開催	(3) 内山での講習会に加え立科町との合同わな講習会を追加実施
市域・望月地区的駆除数増	(4) ア 獣友会駆除委託件数: 2,300頭 (2,000頭については、11支部で各会員数に応じて頭数配分) (300頭については、11支部内で駆除頭数増が可能な支部に配分) イ 望月地区駆除対策強化: 300頭 (①スペシャリスト講座を踏まえた駆除 ②保全活動検証事業成果を踏まえた囲いワナ・くくりワナ駆除 ③一斉駆除・合同駆除 により300頭)